

マンション開発の野放しが学校をパンクさせている!

東区

千早小を綿貫市議が視察、

過大規模校になっている千早小学校で
学校側から話を聞く綿貫市議（12月7日）

千早・名島・松島など...



千早小学校のまわりは巨大なビルやマンションが林立

千早小を綿貫市議が視察、

千早・香椎など高島市政のもとで区画整理事業が行われ、学校用地の確保もないまま住宅やマンションが急増。学校がパンクさせられています。綿貫英彦市議と日本共産党市議団は、「過大規模校」（31学級以上の学校）となっている東区・千早小学校を視察。聞き取りをもとに共産党市議団として議会で質問をしました。

運動場を代わりばんこ、 教室が足りない…

東区の千早小学校は、今年児童数が1000人を超えて35学級もあり、文部科学省が早急な解消を求めていた「過大規模校」の状態です。しかも、今後さらに児童数が増える見込みであり、

- 教室が足りず、音楽室を2つに区切って特別支援教室として使っている。
- 休み時間に交代でしか運動場で遊べない。など、教育環境の悪化が深刻です。

共産党議会で質問

分離・新設や校区調整ではもう限界

綿貫市議は2018年の議会で千早小の現状を告発し、分離・新設やマンションなどの開発規制を求めました。

しかし、教育委員会は「増築工事などで対応できる」といはずれも冷たく拒否。開発

他市ではちゃんとルールがある！

兵庫県・西宮市では学校が教室不足、子どもの受け入れ困難となれば住宅開発の延期・中止・計画変更を求める指導要綱を作っています。

埼玉県・戸田市でも、教室不足が心配される地域を教育委員会が指定して、住宅開発する場合は協議をするしくみを作っています。市がやる気になればできるんです！

を野放しにしているうちに、さらに事態は悪化していきました。

野放し続ける高島市長

今年の12月議会では、日本共産党は学校の分離・新設や校区調整では限界があり、教育環境を守るために市長が先頭に立って過剰な開発行為を規制すべきだと求めました。

市長は、民間企業の開発行為に規制をかけることは難しいと答弁し、教育環境を守る願いに背を向けました。



わたぬき英彦

市議会議員

日本共産党

東区民報

2022年1・2月号

議会報告

綿貫英彦市議の活動を紹介します。市政へのご意見・ご要望をおよせください。(日本共産党東博多地区委員会 ☎631-0037)

発行：日本共産党福岡市議団
www.jcp-fukuoka.jp
電話 711-4734 FAX741-4627

ツイッターやってます
アカウント:watanukihide

お困り事は 無料生活 相談を

東区オフィス舞松原 2-17-30
毎月第3水曜日 18時～
(受付〆切は19時)

和白・奈多

美和台 3-7-16 三苦メゾンハイツ 101
毎月第3木曜日 19～21時

弁護士と綿貫英彦市議が相談を受け付けます。日程が変わることがありますので、事前に連絡ください(電話674-2671)。

2018年6月議会でも
質問する綿貫市議です



議会質問に立つ綿貫市議
(2021年9月7日)

綿貫市議が全校設置を議会で要求

自閉症・情緒障がい特別支援学級 他市の設置率は9割なのに 福岡市ではたった1割!?

日本共産党の綿貫英彦市議は、2021年9月7日、福岡市議会の一
般質問で、市内すべての小中学校に自閉症・情緒障がい特別支援学
級の設置と教員の増員を求めました。

横浜・川崎では全校設置

綿貫市議の質問により、全国の福岡市以外の政令市の自閉症・情緒障がい特別支援学級の平均設置率が小学校で88%、中学校で93%であり、横浜市、川崎市ではすべての小中学校に設置されているのに、福岡市は市内小中学校213校のうち、自閉症・情緒障がい特別支援学級を設置している学校が21校しかないことが明らかになりました。

「地元に学級がない…」

綿貫市議は、「地元東区の美和台小学校に通学させたいが、情緒障がいに対応する学級がないために、安心して学校へは行けない」という、子どもが情緒障がいと診断されているお母さんからの相談を紹介し、情緒障がいをもつ児童生徒が地元の小中学校に安心して通うことができ

ないと追及。教育長は、自閉症・情緒障がい特別支援学級を拠点校に複数学級設置しており、学級がない学校でも適切な支援を行っているから問題ないと正当化しました。

綿貫市議は障害者権利条約に照らしても、福岡市の障がい者差別解消条例からみても、福岡市の対応が間違っていることを告発。また、福岡市の第2次教育振興基本計画における特別支援教育の推進では、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育活動を開拓していくと掲げているが、その理念にも反していると批判しました。

教育長「児童増減に応じて検討」

その上で、福岡市内すべての小中学校に自閉症・情緒障がい特別支援学級を設置することを求めました。また、1年ごとに更新される特別支援学級職員ではなく、継続して専門的な支援を行う教員を増やすことも提案しました。

教育長は、「該当する児童生徒の増減や居住地に応じて検討する」と述べるにとどまりました。

議案提案権を活用して提案しました! マンション紛争の予防条例改正案



開発優先の高島市政のもとで、条例の抜け穴をかいくぐって、説明会を開かない、住民との日程調整も行わないまま一方的な説明会を行うなど、悪質な業者の目に余る行為が後を絶ちません。

日本共産党福岡市議団は2021年12月議会に、議案提案権を活用し、住民が求めた場合の説明会開催や、参加者全員の確認署名を付した議事録の提出などを義務付ける「福岡市建築紛争の予防と調整に関する条例の一部を改正する条例案」を提出しました。



↑改正案と
審議の概要

日本共産党が出した
条例改正案への
東区選出市議の態度



綿貫 英彦(共産)	賛成	森 英鷹(自民)	反対
森 あやこ(緑ネット)	賛成	勝山 信吾(公明)	反対
落石 俊則(市民ケ)	反対	尾花 康広(公明)	反対
ついちはら陽子(市民ケ)	反対	山口剛司(公明)	反対
川上 晋平(自民)	反対	藤野 哲司(自民新)	反対
今林 ひであき(自民)	反対	藤本 順憲(令和会)	反対